

Japanese Poetry – LEVEL III and IV — 2016 Language Fair

たにがわしゅんたろう
かがみ (谷川俊太郎)

わたしはわたしをみてる

わたしがわたしをみてる

かがみのなか

わたしってだれ？

わたしってなに？

おかあさんのおかあさんのそのまたおかあさんの

おかあさんのおかあさん・・・・・・・・

こっちをみてる かがみのなかから

そらがあおい

とけいのはりが ぴくんとすすむ

わたしはわたしをみてる

わたしがわたしをみてる

かがみのなか・・・・・・・・

とてもあかるい

Japanese Poetry - LEVEL III and IV — 2016 Language Fair

どっこいしょ (みねぎし なつめ)

おばあちゃんは どっこいしょ

たちあがるとき どっこいしょ

すわるときにも どっこいしょ

さあ がんばろうと どっこいしょ

もう ひといきだと どっこいしょ

やっとおわった どっこいしょ

おつかれさまと どっこいしょ

いちにちじゅう

どっこいしょの かけごえで

おばあちゃんは

はたらきもの

ねっ きこえるでしょ

「どっこいしょ」

Japanese Poetry – LEVEL III and IV — 2016 Language Fair

いないかな (しみず 清水たみこ)

どこかに

かきの きらいな おさる、いないかな、

ひとりぼっちで いないかな。

ポチっていう ねこ、いないかな、

タマっていう いぬ、いないかな、

二ひきで あそんで いないかな。

あめ
雨を ふらす てるてるぼうず、いないかな、

しらんかおして いないかな。

いい わるものって、いないかな、

やさしい 目^めをして いないかな。

どこかに いるよ、さがそうよ、

ぼく ともだちに なりたいんだ。